



## 3章 チャクラと魂の浄化(カルマ)

---

～思念、心の浄化を行い、自分の中にエネルギーを循環させて解放する～

植草：皆さん、こんにちは。プロデューサーの植草です。

東城：東城凜です。

植草：今日は、動画の3話目ということで、「チャクラと魂の浄化」という章に入っていきたいと思います。よく、「カルマ」という言葉も出てくるんですけども。今回はこの点なんですけれども。

第1話と第2話ですと、第1話で人間関係。主に恋愛というところと、それ以

外という部分の浄化ですよ。人間関係の浄化。そして第2話でもサイキックアタック、思念ですよ。強いマイナスの思いをブロックして浄化するというようなことについて、先生のほうから教えていただいたんですけども。

今日は、「チャクラと魂」という、このタイトルなんですけれども、今までに比べるとちょっと抽象的でわかりにくい。それと、これが浄化されるとどうなるのかということも、かなり伝わりにくい部分だと思うので。まず、その辺りについてちょっと教えていただきたいんですけども。

東城：実は、チャクラというのは、皆さんもご存知の方も多くなってきていますが、体内の真ん中のところを通して循環させていくという意味では一番大事なものであって。インドヨガなどもあるぐらいなので。その中にチャクラヨガというのもちろんとあるんですね。

植草：体系立てられた知識ということですね。

東城：もちろん、それは、たとえばインドの医学においてチャクラというものの治療というものが存在していたんですよ、昔は。

植草：医学として存在していたと。

東城：そのくらい大事な場所。ご病気を治すのであれば、たとえば体を鍛えるのであれば、よい気を作っていく。体からエネルギーを出すのであれば、チャクラを治療しましょうという、そういう教えがずっとインドにあるぐらい大事な場所なんです。

植草：気の流れをよくするという。

東城：そうですね。

植草：気の流れがよくなると、どんなことがよくなるんでしょうね。

東城：各チャクラごとに役割がきちんとありますので。それをきちんとやっていくことによって、もちろん体内の中で執拗な疾患もよくなるし、あとは、人間関係とか、そういうエネルギー的なものとかも浄化されていってよい方向に向かっていくという、自分の中のよいコンディションを作ることができるようになるんですね。

植草：ということは、人間関係とか、サイキックを学んできましたけれども、すべての根幹にあるものがチャクラだというふうに思って差し支えないということなんですね。

東城：はい。

植草：そのチャクラについて、もっと詳しく見ていきたいなと思うんですけども。こんな感じですね。



これは、2話か何かで1回出てきたチャクラのものだと思うんですけども。今日はチャクラがメインのお話なので、それぞれ詳しくお話しいただきたいなと思うんですけども。

東城：それでは、一つずつ。まず、第1チャクラという部分がありますよね。

植草：これですね。赤色の。これはどの辺り？

東城：腹部の辺りなんですね。ここの部分というのは、実は大地とか女性というふうに見なされていて。女性イコール「地球」とか、「大地」とか、「海なる母」という意味の根源なので、一番大事な部分なんですね。

ここが崩れていると、俗にいう「グラウンディングができていない」とか、日本人の方のことわざでいうと「地に足がついていない」という具合があったりとか。あとは、少し前に流行った言葉で、インナーチャイルドってありましたよね。そのトラウマが悪化していき、前に進めなくなる。

植草：ということは、日本人の多くの方が悩んでいるものは、この第1チャクラという一つ目がすでに崩れてしまっていて、治っていかないというようなことですね。

東城：そうですね。

植草：まず、さっき「グラウンディング」という言葉が出てきて、それが、地に足がついていないというお話をいただいたんですけども、もうちょっと詳しく、その状態がどういうものなのか、教えて欲しいんですけど。

東城：まず、スタートのところで、何か仕事を手がけましょうといったときに自信がなくなる。あと、対人関係において何かがあった場合、自分が関係なくても自分が周りに影響を及ぼしたという勘違いを始める。罪悪感が強くなる。

植草：被害妄想みたいな感じですか？

東城：そうですね、強くなります。そこまでいくと、今度はきちんとした生活が伴わないので、財運的にも低下していきます。

植草：お金の面とかも落ちていく。

東城：あとは、男性、女性としての本来の生き方ができなくなってくるので。たとえば、性転換とかそういうことではないですよ、そうではなく、本来の生き方ができなくなるので、相手に対して愛情表現ができなくなる。あとは、相手に対して疑心暗鬼。

植草：信じられないんですか。

東城：何があっても、それができなくなるので。たとえば恋人では、相手が常に浮気をしていると思ってしまう。

植草：たぶんこの動画で学ばれている方の中にも、今の症状に当てはまってしまっている方が多かもしれないですけども。7つあると、いろいろと思ってしまうかもしれないですけども、まず、その一つ目の第1チャクラが崩れてしまっている。

東城：そうですね。

植草：さっき、グラウンディングという言葉とともに、「インナーチャイルド」という横文字も出てきたので、ここについてもちょっと見ていきたいなと思うんですけど。

東城：インナーチャイルドは、生きてきた中で、幼少期から今現在に至るまでに、自分が傷ついたことというところがありますよね。たとえば友達にいじめられてしまったとか、親御さんからひどく怒られて、それがずっと心の中にトラウマとして残っているってありますよね。

そこの部分の年齢が、魂の年齢的に心の年齢がストップしちゃっているんですよ、その部分は。なので、心の中の子どもの年齢というのがインナーチャイルドで、大きく言うとトラウマになっている原因のところの心という言い方がいいですかね。

植草：ひどい人とかになると虐待を受けたとか、実の親に性被害を受けたとか、なかなか一人で解決するには重すぎる内容というか、傷つかれている人がいると思うんですけども。そういう意味でいうと第1チャクラがずれていると、そこが狂ってしまうというか。

東城：そうですね。トラウマが常に出てくるので、「どうせ私」という言葉が口癖になりやすいですね。

植草：自分自身を大切にできていない方というのが増えているんですよ。そういう方というのは、この第1チャクラがずれてしまっている。

東城：そうですね。



植草：そこが整えば、そういったものからは解放されて。

東城：解放されていく。

植草：という大事なところですね。整え方は、あとでまとめて教えていただけるということなんですけれども。続いて、第2チャクラを見ていきましょう。オレンジですよ。

東城：オレンジ色です。

植草：これが第2チャクラですね。

東城：オレンジ色で、場所的にいうと丹田（たんでん）の辺り。

植草：丹田（たんでん）ですね。おへそから指3~4本のところにあります。これは、どんなものなんでしょう？

東城：もしここが、バランスが崩れていると孤独感が強くなるんですね。それで、常に居場所を探そうとするので八方美人化してしまう。

植草：よく、社会において、一見、八方美人の方って充実しているかのように見えて、周りからは、「いいね」なんて言われているけれども、本人の中では、本当の自分を出していないから満たされないとか、一人になって孤独を感じるという人が多いんですけれども。そういう方は、ここがずれていると。

東城：そうですね。よく、「本当につかみどころがないよね」という方がいますよね。「あの人って、どういう性格かわからないよね」という方というのは、結構このバランスが悪くなっている方が多いです。

植草：今、バランスが悪いという表現をされて。僕はさっき何気にスルーしてしまったんですけれども、チャクラというものを正しく理解しないと、おそらくこれをうまく使いこなすことって難しいと思うんですけれども。

勘違いされている方は解放だと思っているとか、開けばいいみたいに思っている人がすごく多いと聞いたんですけれども、そういうわけではないんですね？

東城：そうですね。間違った情報が流れているので。たとえば、霊能力開発のためにこのチャクラを開きましょうとか、解放しましょうとかってあるんですが、

実際そのようなことをしたら死んでしまいますので（笑）。

植草：死んじゃうんですね、開きすぎると。

東城：それこそ、あとは精神疾患を伴って。開ききってしまったチャクラというのは、閉じるのが不可能なんですよ。閉鎖させるということができなくなるので、基本的に、そこだけを解放しましょう、開きましょうというものをしてしまうと、必ずお体に負担がかかります。

植草：じゃあ、イメージの世界で、適切なサイズで、詰まっているものを取りながらバランスを調整する、整えるということですね。という感じで、皆さん、イメージをしていただくことが、すごくこの先、重要になってくるので見ていただければと。第2チャクラは、孤独ですね。

では続いて、第3チャクラといわれる黄色。これは、場所的に言うと？

東城：これは、胃のちょっと下ぐらいと言ったほうがいいのか。場所的に言うと、この辺りになります。これは黄色なんですね。黄色なんですけど、実は皆さん、スピリチュアル感とか運氣とか思っている人たちは、たとえば、ここがいいですよ、あそこがいいですよってあるんですが、肝心なのは、ここなんですね。

植草：一番、スピリチュアル界というか、スピリチュアルの感性として重要なのが、この黄色のチャクラ。

東城：そして、ここが整っていきまると、なぜかお金の入りがよくなるんですね。

植草：不思議ですね。

東城：なぜかという、奇跡を起こす場所で。よく、火事場の馬鹿力が起きるとか、自分がツイているという現象を起こしてくれる場所なんですよ。

植草：胃の下辺り。

東城：自分の理想の、たとえばきれいになりたいとか、モテたいという願望をここ（第3チャクラ）が吸い取って、ここ（第3チャクラ）が動いてくれる。エネルギーとして動いてくれる場所なので、大事な場所なんです。

植草：願望実現のチャクラポイント。よく、最近でいうと引き寄せというか、流行っ

ているというか、かなり、スピリチュアルを好きじゃなかった人も知っているぐらい認知度が広がっていると思うんですけど、そういうのもこの辺の。

東城：実は、ここが指令を出している状態なんですね。なので、ここがきちんとバランスよく、ほどよい大きさに動いていただければ、細胞が活性化してきますので。もちろん、働く意欲、それからお金の匂いがきちんとするとか。あとは、女性とか男性として美学的にどんどんよくなるというところで一番大事な場所なんですよ。

植草：ここを整えることによって、願望実現。あとは、さっき出た、やる気ですね。仕事をやるとかというモチベーションが上がらない人は、ここがずれているということですね。

東城：そうですね。よく「そんなことあるわけないよ」とか「現実的じゃないよ」って言って、験を担げないときというのは、ここが少し硬くなっているときかな。

植草：そこを調整していきましょうと。続いて、第4チャクラですね。色は緑。場所としては？

東城：ハートの部分ですね。

植草：心。ハートの部分ですね。心臓、厳密に言うと心臓じゃないですよ、おそらく。真ん中なのでハートと言われる部分ですね。

東城：こちらは、もちろん皆さんがよく言う、相性とかね。相性と言われる理由は、実はこの中には、インドでいうと蓮の花が2枚あると思われているんですね。インドでいう、ヨガ的なものでいうと、蓮の花がシンボルマークで入っているというのは、たぶん似ている形のチャクラが入っているんだと思うんですよ。

その2つが混じり合うことによって、人間関係がよくなるというエネルギーを生み出すと思われているんですね。

実際のところは、ここを活性化していくと何が起きるかということ、人と人というのは、もちろん森羅万象の世界で恵まれているものかもしれませんが、ここが整っていると周りにいる人たちを豊かにしていく。自分も豊かになろうという意欲が湧いてくる場所なんです。

そうすると、「心に余裕がある」とよく言いますよね。余裕が持てるというの



が、バランスよく出ている状態なんです。

植草：確かに、余裕があると依存しないとか。とは言え、離れすぎないいい距離感をつかめるというものにもつながってくるということですよ。

東城：そうですね。あとは、たとえばビジネスの面で見たら、余裕を持って見られるので、見定めて時間の浪費をしないで、効率よくお仕事ができるようになる。

植草：じゃあ、ここが整うと、よく、だます人がひどいと思うんですけども、だまされやすい人とか、押しに弱すぎる人とか、欲しくないのに買っちゃうとかあると思うんですけども、それもやっぱりこのバランスがずれて。

東城：はい。皆さん、別と考えている方が多いんですが、実はだまされるとか買ってしまう、押しが弱いというのは、心に豊かさがあまり足りていないから、そこで、自分はいらないんですよ、気持ちはいらないんだけど、チャクラのほうで物欲が出てしまうので、そこでノーと言えなくなる。意志の弱さが出るのは第4チャクラの場所が、ちょっとバランスが悪いときです。

植草：じゃあ、つけ込まれちゃってという意味もあるということですね。あとスピリチュアルコネクトのサイトとしては、ソウルメイトというものが、非常に人気記事なんですよ。まず、ソウルメイトというものを教えてもらいたいですけれども。ソウルメイトってなんでしょうね。

東城：ソウルメイトというのは、日本語に直せば「魂の」という意味があるんですが、今世でご縁があって、ご家族となる人も含め、あとは恋人になる人。あと、ご縁を持ってそばにいる人はすべてソウルメイトです。

植草：じゃあ、仕事のパートナーとかもソウルメイトのあれですよ。ずっとやっていく人は一部ですよ。そのソウルメイトの引き寄せとか、あとは本当のソウルメイトと出会うためのメンタル状況というか、これで言うとチャクラ状況なんですよ。チャクラの整った状況を作るのも第4チャクラであるということですよ。

東城：そうです。

植草：その辺に対して問題点、課題点がある人は、ここを整えましょうと。続いて、第5チャクラですよ。色で言うと青色、ブルーですよ。

東城：すみません、せきが。

植草：のどですか？

東城：大丈夫です。ちょうど場所的にのどでしたね（笑）。

植草：のどの第5チャクラ。

東城：ここがバランスが悪くなると、問題解決というところの意欲がなくなります。なので、ちょっとしたことでも面倒くさくなっちゃう、なんでも。あとは、表現力が、最近、人としゃべるのがおっくうですとか、コミュ障とかあるじゃないですか。これは、ここが閉鎖的になっていてバランスが悪いときに起きやすくなります。

植草：コミュニティ障害のことですよ、コミュ障ってね。  
人と話したくなくなっちゃう。

東城：そうなんです。そして、逆に言うと、今インターネットの普及によってソーシャルネットワークが流行っているんで、文字で表現するのは得意になってきている。ただ、言葉とか行動で表現するという部分ができなくなっちゃうんですよ。ここが、バランスが悪くなると。なので、変にエンパスみたいな、悪いほうにエンパスが起きやすくなってくる。

植草：エンパスって皆さんご存知でしょうかね。  
ちょっと説明をしていただきたいんですけども。

東城：共感性ですね。早く言えば、悪く、みんなでエネルギー的に「そうだよね」と言ったら、「そうだよね」と言って、自分が依存してっちゃう。共依存してっちゃう状態ですね。

植草：思わなくていいところに感情が奪われすぎちゃって、悪い方向とか、たとえば悲しみとか怒りとか、そういう方向にぐっと引っ張られちゃう。

東城：そうです。悪い方向に引っ張られてしまう。

植草：そうすると、とらわれちゃうわけですね、きっとね、情報に。

東城：なので、ここがバランスが悪いということは、問題解決をしようという気が起

きなくなるので、「それでいいじゃない」という、流されるままの生活になっちゃうので。

植草：じゃあ、流されやすい人というのは、ここ（のど）なんですね。一見、流されやすいことと何のつながりもなさそうに見えても、チャクラとしてはここ（のど）が、流されるのか、流されないのかというところだということですね。

それで、第6チャクラ。これが藍色ですね。場所は？

東城：場所は、三つ目小僧の眉間（みけん）のところですね。  
よく言われるサードアイ。第三の目と言われる場所ですね。

ここが、バランスが悪いときというのは、直感力、自分が持っている直感力が鈍ったり、あと、わかりやすいところかというと、料理を作って味がおかしかったりとか。

植草：そういうところにも不調が出てくるというか。

東城：たとえば、同じ量でお味噌を入れているのに、周りにしょっぱいと言われてしまうとかっていうのが続いているときは、自分の感性が鈍っているときなので、この場合はバランスが悪くなっていますね。

植草：ここにある、サードアイと言われるチャクラが、バランスが崩れてくると感覚がおかしくなっちゃう。

東城：そうですね。あと、自分らしさのオリジナル性がなくなってくるのでコピーが多くなるって言ったほうがいいんですかね。誰かの真似ばかりするようになる。

植草：インターネットが普及して、スマホとか、みんな持っている時代で情報がどこからでも入ってくると、確立した「これがいいよ」とか、「これがかわいいよ」みたいなのが増えてきちゃうじゃないですか。「それなんだ」みたいになって、自分が自分じゃなくなっていくというか、世間のいいというものだけ、寄っていつてしまうとかというの、全部ここ（第6チャクラ）が。

東城：そうですね。たとえば、わかりやすく言うと、憧れだからということで、アイドルの女性の真似をする方っているじゃないですか、ずっと。そのときに、たとえばアイドルさんが履いているから大丈夫と言って、すごく高いヒールとかを履く方もいらっしゃるじゃないですか。

そして、どうあがいてもその人たちはコンサート会場で着ているのに、普段自分が履いていて階段のホームから（ホームの階段から？）落ちてしまったとか。

普通に考えたら、それは危ないでしょうというのがわかっているけども真似してしまうというところで、自分の感覚の危機感とか恐怖感とかという感性が、すべて閉鎖的になるのでわからなくなっちゃうんですよ。

植草：同じようなメイクとか、同じような顔つきにしたいというのは、ここ（第6チャクラ）のバランスがおかしくなって。

東城：自分自身というものに対して、自信とかそういうことではなくて、個である、自分に意識がある、意思があるということを、閉鎖的で見えなくしちゃっている状態なんですよ。

植草：結構これは自分で気づいてないけれども、そうなっちゃっている人って、多いんじゃないですか？

東城：多いですね。最近、特にここが、閉鎖的でバランスが悪いという方がすごく増えています。わかりやすいと、今インターネットが普及して楽になっているのもあるんですが、国語辞典で漢字を調べない時代じゃないですか。それと一緒に、調べるというところは、自分の直感を研ぎ澄ませるために必要な部分を使わなくなってきているんですよ。

「これってなんだろう？ 気になるな」が、なくなっちゃっているわけだから、どんどん退化しているんです。ここ（第6チャクラ）が一番、今退化しているかもしれない。

植草：現代人が退化しやすいというか、してしまったのはここ（第6チャクラ）だということですね。じゃあ最後ですね。第7チャクラ。色は紫なんですけれども。

東城：ここは、次元が全然別で、ここ（第6チャクラ）が閉鎖的だったら、ここ（第7チャクラ）は必要ないだろうというぐらい次元が違うんですよ。

植草：もうここ（第7チャクラ）は関係ない。高次元。

東城：ここ（第7チャクラ）のバランスを整えられるのは、ちゃんとここ（第7チャクラ）までの部分をきちんとバランスよく活性化させていって、ちょっと大

げさに言うと、千里眼的な役目をするぐらい素晴らしい場所なので、ここを活性化するとかバランスを整えるというのは、普通の人間ではあまり必要ない場所ではあるんですね。

植草：じゃあ、悟りを開きたいとか。

東城：あとは、私、靈感が強くてそちらの道に行きたいとか。そういう方たちはもちろんこちら（第7チャクラ）を活性化させるべきだと思います。

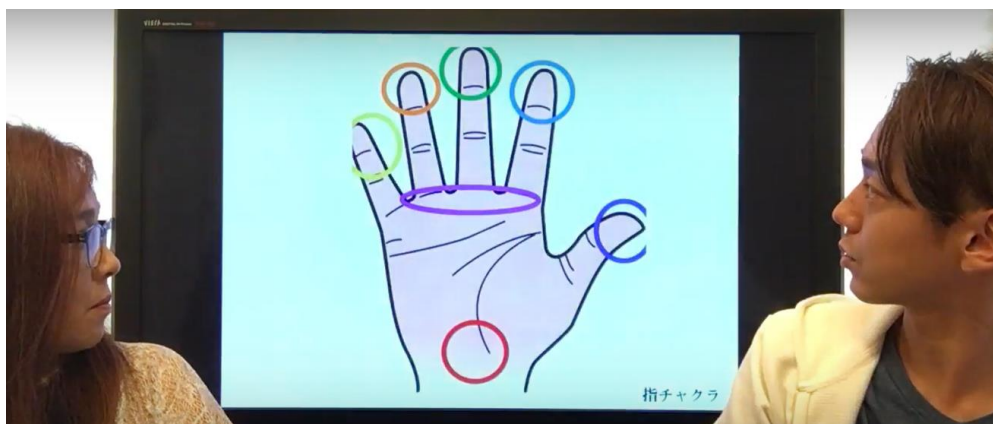
植草：そういう人たちは、ここ（第7チャクラ）に入ってきてくれればいいけれど、まずは、ここ（そのほかのチャクラ）が整っていないうちは、何をしてもこれ（第7チャクラ）は意味がないですよ。

東城：アニメで、ピンとアンテナが立って、妖怪がね。あれと同じ役割をする場所なので（笑）。

植草：なるほど。今日は浄化ということなので、第1から第6までの、まず完璧に整えていただくというようなことで、話を進めていきたいなというふうに思います。もし、ここが整って第7チャクラを極めたいという人は、専門の、おそらく師匠を作って学んでいくという感じになるということですね。

じゃあ、それぞれについて、やり方を教えてほしいんですけども。おそらく今話を聞いて、自分は、特にここがまずいなところとか、全部やばいなっている人もいるかもしれないんですけども、焦らず1個1個いけばいいということですね。

じゃあちょっと、こんな感じですか？





東城：よく、ヨガをなさいますとか、もちろんいろんなやり方があると思うんですね。ですけど、今回は瞬時というか、常に、自分が座っていても、テレビを見ているときでも、どんなときでも、電車の中でもできる方法ということで。

実は、手のひらにチャクラって存在しているんですね。体のところのバランスで出ているのが、ちゃんとツボのようにきちんとチャクラの場所というのが決まっています。ここが第1チャクラですね。

植草：これ、ちなみに、こういう感じで手になっているんですけど、右手とか左手と違って。

東城：基本的には、右手です。なぜかというと、左手はエネルギーを吸う場所なんですよ。そして右が吐く場所なので、ここ（右手のひら）のバランスを整えなければ、出せないんですよ。

植草：放出することを意識するというで。

東城：皆さん、吸い取ると言うんですが、バランスが整っていないのに吸い取っていたら、バランスが悪くなる一方なので。

植草：まずは悪いものを全部出してしまっ。

東城：出してからでなければダメなので。チャクラを整えるという意味で、こちらになります。

植草：右手になります。

東城：そして、ここですね。長い短いもありますが、生命線の辺りというか、ちょうどぷくっくらしているところですね。ぷくっとしているところが第1チャクラになります。

植草：ここですね。

東城：そして、こちらから上がっていけばわかると思うんですが、ここ第2チャクラ。

植草：第2チャクラ。ちょっと戻りましょうか。第2チャクラはオレンジ色ですので、薬指です。

東城：指輪をする指です。第3チャクラは小指。

植草：第3チャクラは黄色ですので、小指ですね。

東城：そして、第4チャクラは緑。

植草：ハートチャクラですね。

東城：中指です。そして、先ほど人間関係のところで、閉鎖的になっちゃうんですよと言っている第5チャクラ。大事な要ですよと言っていたところ。

植草：のどのところですね。

東城：これが、ここの人差し指です。コミュニケーションだから人差し指と覚えていただければいいかもしれない。次、第6チャクラ。サードアイの部分ですね。

植草：眉間（みけん）のこの辺ですね。

東城：それは親指です。そして最後に、ここ全部、全体ですね。ここが第7チャクラに当たります。そして、ここの丸をしている部分がありますよね。たとえば、第1チャクラがどうにもならないよといった場合、まず手を洗ってください、必ず。これをやる場合は。

植草：せっけんとかは？

東城：使わないです。お水で洗ってください。出先の場合は、ハンカチでいいので、お水がなければ、拭いてください。

そうしましたら、まず第1チャクラの場合は、ここの部分がありますよね。こちらの部分を、左手の親指か人差し指、どちらでもいいので、第1チャクラの部分を押してください。押しながら、鼻でゆっくりと赤いもの、ここ（第1チャクラ）の赤いものを吸い取るぞという勢いで。結構痛いはずなんですよ、押していると。

植草：そんなに痛く押すんですね？

東城：だいたい普通にマッサージする程度です。ぐっとではなくマッサージする程度に押していると痛いはずなんです。第1チャクラがダメな方は。

植草：ダメな方は痛いんですね。じゃあ、ダメじゃない方は痛くない可能性がありますよと。

東城：そうですね（笑）。そして、赤のイメージをしながら、鼻で、ここの第1チャクラに向かって、（鼻で息を吸うしぐさ）。

植草：押しながらですね。

東城：そうです。押すときに（鼻で息を）吸って、離すときに吐く、鼻から。こんな感じですね。

植草：復習しましょうか。押すときに吸って、吐くときに離す。何秒ぐらいですかね？

東城：これは3秒、3秒でいいです。これをだいたい2回から3回やってください。各場所、みんな一緒です。

たとえば、親指のここの部分ですね。ここの場合は、ここのところ（第6チャクラ）を押しながら、（左手の）親指で押しちゃってもいいですし、押しやすいように押ししてください。そして必ず、色を思い浮かべながら（鼻で息を吸う）。

植草：色を思い浮かべながら、というのがポイントですね。

東城：そうです。ここは赤のチャクラだからとか、色を思い浮かべながら、吸うときに押す。吐くときに離す。

植草：なので、これはちょっと覚えていただいたほうが、外出先でもできるかなと思うんですけども。目はつぶらなくてもいいですか？

東城：閉じなくてもいいです、これは。

植草：色だけをイメージして。赤いもの、要は、りんごとかじゃなくて。

東城：色で、赤とか、ここは真っ赤とか。ここ（親指の第6チャクラ）が藍色とか。色が、ここ（第7チャクラ）は、真紫になっているとか。できない人は、もし時間があるとか、ご自宅の場合は、水性のマジックで塗っちゃうのはありですね。最初にイメージするために。

植草：水性のマジックで塗っちゃって、そこを押して吸って、吐いて離す。3回ぐらいでしたっけ？

東城：3回ぐらいやってください。

植草：3回ぐらい繰り返してください。痛いところというのは、もしかしたら活性化とか、バランスが異常。

東城：異常な、炎症的なものが起きているという状態なので、その場合はちょっと多めにしてください。それこそ3回じゃなく。3回しかできないような環境下にある場合は、1日に数度、時間を見て。お風呂の中でもいいですし、トイレの中でもいいので、心がけると痛くなくなるので。

植草：ここ（手のひら）にチャクラが連動しているというわけですね、きっとね。（体の）センターがあって神経とか気流が通っているということですね。

東城：それで全体的に、自分で、痛い場所がなくなってきたよといったときに、初めてバランスが整っているということなので。そうすると、気がついて、自分で振り返ってみると、「あら、なんかうまくいったわ」とか、「なぜ、私は友達のことをずっと疑っていたのかしら」とか、結構変わってきます。

植草：じゃあ、これは気づいたときに。1日1回は、ぜひやってほしいなというふうに思います。こんな感じですかね、チャクラバランスは。

東城：最初はこれを真剣にやっていただかないと変わらないので、ぜひともこれは実践してほしいと思います。

植草：ぜひチャレンジしてください。続いて、「魂の浄化」。



東城：ちょっと怖い絵（画）ですけど（笑）。

植草：これで、魂の浄化ということ。

東城：今回は、魂の浄化をするのに、チャクラのバランスとその効果がある、前の章でもやらせていただきましたが、タリスマンというのはとても効果がありまして。使い方を間違わなければ効果が絶大で、自分の浄化につながりますので。その点ではいいのかなと思ひまして。今回は、タリスマンとチャクラでやらせていただこうと思ひております。

植草：そもそも、魂を浄化をしていく前に、魂概念の復習と、その辺をしっかりと理解していただくというのが重要だと思ひますけれども。魂とは？

東城：魂とは、今世に、今生きているこのときに、生まれてきているために必要な前世がすべてつまっている器です。それは、丸かったりとか、中にはハートの形の方もいらっしゃるかもしれませんが、いろんなパズルのピースのように集まってできあがっています。

植草：それはどこにあるんですか？ 体の中に？

東城：体の中にあります。俗に言う、心の部分にあるとか、頭にあるとかと言うんですが、自分が、「ああ、疲れたな」と思ったときに、「はあ」といったときに手で押さえる場所がほしい。たとえば、「疲れたわあ」と（頭を）押さえている方とかいますよね。「ああ、もう今日は」って（胸の辺りに手を置く）やっている場所に魂があるんですよ、実は。

植草：人によって場所が違って。けれども、無意識のうちに「ああ疲れたな」と（額を押さえて）やっている人は、この辺（額の辺り）にあるだろうし、「ああ疲れたな」と言って胸を押さえている人には、胸にある。

東城：無意識に押さえる部分というのは、自分の大事なものがあるから押さえるんですよ。「怖い！」というときに、「きゃあ、怖い！」って（のどの辺りで両手をにぎる）やる人というのは、この辺（のどの辺り）に魂があるということなんですよ。

あと、中には、「もう見たくない！怖い！」って、（両手で両目の辺りを覆う）やる人は、ここら辺のサードアイのところに魂がいるということなので。



ここをだいたいこうやる（サードアイの辺りを両手で覆う）方というのは、霊感とか能力が強い人が多いです。

植草：どこが多いですか、ちなみに。

東城：一般的には、やはりここ（胸の辺りを押さえる）ですね。

植草：胸が多いんですね。

東城：なので、感情なのか、魂が言っているのかがわからないのが、見極めがつかなくなっちゃうから迷っちゃうんですよ、みんな。

植草：そこが区別ができていないんですね。全部一緒くたになっちゃうと。だから、皆さん、どこにあるかは別として、自分に注意をしてみると、おそらく見つかるというか、思うんですけど、それが魂という存在ですよ。それが、浄化をしなきゃいけないということは、何か汚れちゃったりとか。

東城：魂というのは、やはり一番の大事な部分じゃないですか、生きていくうえで。そこで、そのときに発していて、影響を及ぼすのがチャクラであり、かつオーラも魂から出ているものなので、魂が汚れてしまうというか、一番もろくなる。

前の章でもお話しをしたように、エーテル体が傷つくと、そこに浸透して行って最後に溜まっていくのが、ごみパックのような役目で魂の中に全部悪いものが、邪気とかが溜まっていくんですよ。

だけど、魂はそれを解放することができなくて、私たちが来世に生まれ変わったときに、それをかけらとして持っていくんですよ。

植草：じゃあ、ごみごと持っていくみたいな。

東城：そうなんです。

植草：律儀な感じなんですね（笑）。

東城：置いていけばいいのに（笑）。それなので、こちらでお掃除をしてあげないと、どんどんそれが溜まっていくから悪いものだけが、最終的に、歳をとっていったときに、「なんであの人は、ああなんだろうね」って言う人って、結構いるじゃないですか（笑）。そういう感じを持っていっちゃうんですよ。

植草：溜まって。容器の大きさは決まっているわけですよね。だから、その容器を10とすると9ぐらいごみが溜まっちゃってるみたいな感じの人だと、もうわけがわからないと。

東城：そうなんです。たとえば、彼から裏切られたというのが3回あって、そうしたら3溜まってしまうじゃないですか。人から裏切られたというのが、たぶん1回ということはないと思うので、5回ぐらいあったら、もう8じゃないですか。そうすると、できあがっているのが、裏切られるというトラウマを持っていらっしゃるんですよ。

植草：その掃除をしないといけない。それが魂の浄化であると。

東城：そうです。今を浄化するということは、前世から持ってきている、その悪いものを浄化できるので、クリーンなものが入るじゃないですか、隙間に。そうしていくと、もちろん本来、自分が、今世に、人に愛されて幸せに生きていくよというものを、持ってきているものが素直に起こせる。

植草：魂というと、ちょっと難しいかもしれないですけども、よく言われているのは、隙間が出れば必ず入ってくるというのが、現世というか現実世界ですね、言葉を正しく言うと。現実の世界にもありますよね。いらない人間関係を切ったら、新しい、素晴らしい人間関係ができあがったとか。お金とかもそうですよね。汚い仕事を切ったら素敵な仕事が入ってきたり。

それが、魂においても一緒というか、魂がそうで、現世に現れているということかもしれないということですよ。

東城：そうですね。

植草：それぐらい重要な魂が、一般の世界では、簡単に言うとシカトされているということですね。

東城：そうです。

植草：スルーされてしまって。

東城：びっくりするぐらい（笑）。

植草：この業界にいらっしゃると、掃除をするというのが当たり前。でもそうしない人が大半だから。

東城：多いですね。現実の生活の中でもお掃除ができない人たちが増えているじゃないですか。お部屋の片付けができないとか。そういうのは、確実に魂のお掃除もできる人たちではないので。

植草：内側と外側は、結局写し鏡というか。だから、こっち（魂）が汚いから、汚くてもいいやって思っちゃうということですよ。

東城：そうです。慣れているので。逆に、少しお掃除ができたとか、チャクラのバランスとかをきちんと整えていくと、自然とお掃除ができるようになるので。

植草：もし、今この動画を見ている人で、ごみ屋敷とまではいかなくても部屋をふっと見回したときに「ああ、汚いな」と思ったとしたら、まずちょっと魂を掃除してあげて、そうしたら自ずとその空間が居心地が悪くなるということですね。

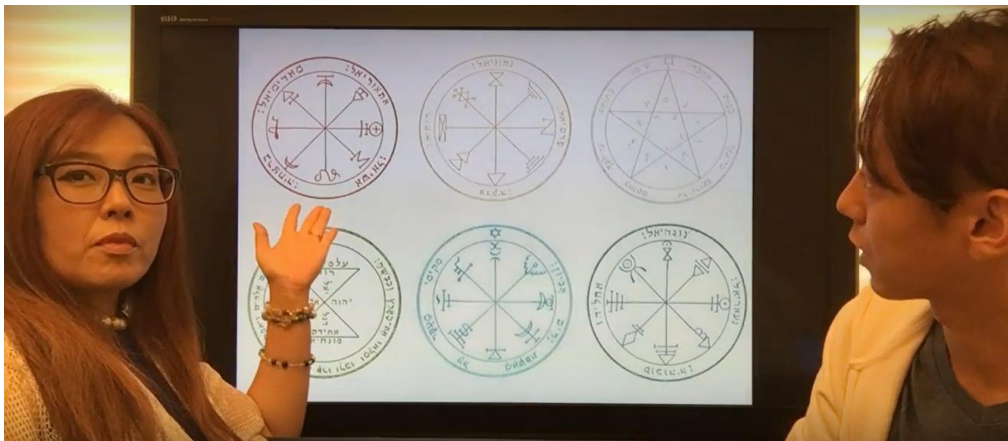
東城：そうなんです。それこそ、段ボールの中に詰められているくらい息苦しさを自分で感じてくるので。押入れに入っちゃっているような、ああいう居心地の悪いという空間に感じてくるはずなので。動き出します。

植草：そんな感じで魂を浄化させる重要性というものがご理解いただけだと思います。じゃあ、実際にどういうふうにするのかですよ。こちらですね。



東城：今回は、その浄化に必要なことと魂のバランスのところも一緒に浄化をしていくという意味で、タリスマンにお色。タリスマンというのは、実はお色が全部あるんですよ、決まっています。

植草：デザインもちゃんと違うのがわかりますでしょうか。おそらくパソコンで見られている人は、画面を大きくするとよく見えると思うんですけども。



東城：こちら赤色で、第1チャクラですね。第1チャクラと魂を浄化するために必要なもの、何かというと、赤の、意欲、それから安定感というものが含まれていて、それを願望的ではなく、自分の意識の中の魂に働きかけて活性化していくというタリスマンなんですね。

こちらをお使いになる場合は、必ず、スマホの方だったら待ち受けにする。プリンターのある方は、プリンターで印刷してもらったりとかして、こちらを持っていただきたいんです。

それで決まり事がありまして、このタリスマンを使う場合においては、朝から夕方、日の入りですね、その間の中で、できれば太陽が真上にくる前。だからお昼前ぐらいかな。

植草：11時とかですかね。

東城：日の出から真ん中にくるまでの間に東に向いてください。このタリスマンを太陽の下に、自分の、たとえばスマホだったら画面を出してください。もし切り取って持っているのであれば、自分の手の上に置いて、左手を上に出します。必ず右手は下ですよ。

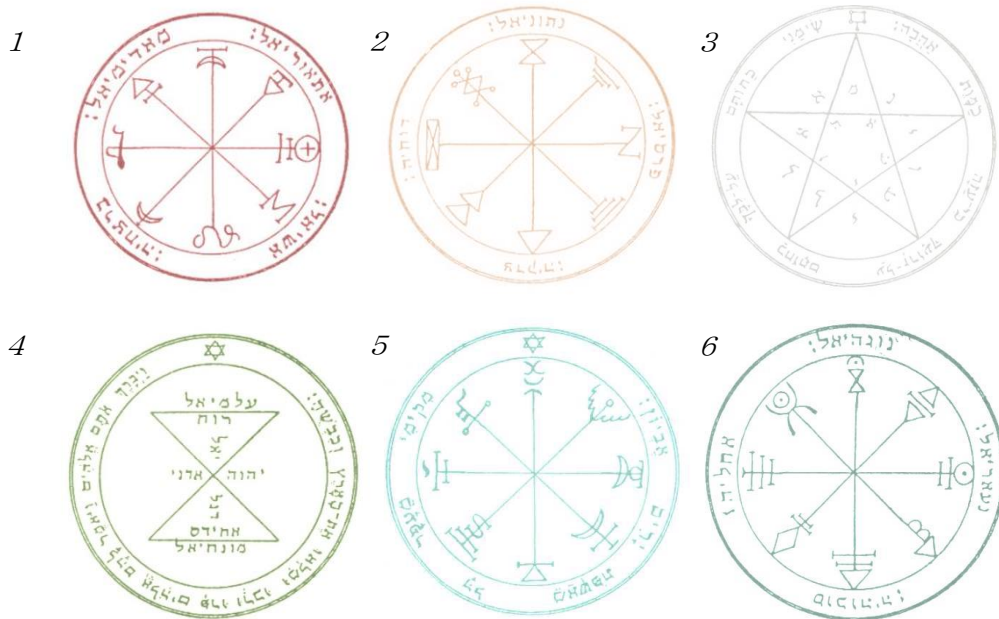
植草：右手が下。タリスマンを置いて、左手が上。

東城：そうしたら、「私の狂ってしまっている魂の流れを正常に戻してください」みたいなね。あとは、「悪いものを吸い取って元気にしてください」でもいいです。あと、「地に足がつくような生活にしてください」というような。第1チャクラと同じ効果があることを言ってください。それは1回でいいです。

次に、もう1回あるんですよ。今度は、日の入り。夕日から、日の入りしちゃってから、お月さまがありますよね。お月さまが出てから、てっぺんにお月さまがくるまでの間に西に向いてください。

西に向いて、同じようにして「私の悪いものを全部放出しちゃってください」、「捨てちゃってください」と頼んでください。それでワンセットです。

これを全部自分の中の必要なものに対してやりますので。かつこれというのは、赤、オレンジ、黄色、緑、青、藍色。上から1、2、3、4、5、6までありますので。



植草：ここに6個しかない理由は、さっき第7チャクラはプロフェッショナルのみでいいということでしたので、今回は6個。今画面で見ているものは、サイトのほうでそれぞれプレゼントとさせていただきますので、そちらのほうから、こちらをゲットしていただいて。自分の悪いところからやればいいんですか？



東城：そうですね。悪いところからやっていただいて。  
だいたい1週間ぐらいですかね。

植草：これは、1日にいくつやってもいいんですか？  
それとも1個にしぼったほうがいいんですか？

東城：1個にしぼってください。

植草：ということは、先ほどお話し、ちょっと画面を戻しましょう。



このページ（「チャクラバランスの調整」）のときにお話しさせていただいた、皆さんの悩みというものがあって、たとえば全部悪い場合は、下からいったほうがいいんですか、上からきたほうがいいんですか？

東城：もちろん下からです。

植草：下から。これはルールですね。第1というから、グラウンディングがダメだ、もう自分に自信がないとか、地に足がついていないという人も、ここからやってください。全部悪い人は。

それで、ここ（第2チャクラ）は大丈夫、ここ（第3チャクラ）は大丈夫、ここ（第4チャクラ）はダメという人は、緑のところからスタートしていただければ大丈夫。それで、必ずルールを守らないと……。

東城：バランスが崩れたままになります。

植草：これ、結構危険だと思っていて。こういうのを無視をして、もしくはちゃんと理解をしないで進めちゃう人がいるんですけどね。

東城：そうなんですよ。飛び越える方が多いですね。

植草：ちょっと焦っちゃうこともあると思うんですけども、そこを間違えちゃうと、より悪化しちゃう。

東城：そうなんです。

植草：より悪化しちゃったりするので、逆効果になってしまう可能性が非常に高いということですよね。なので、そこだけは注意をして、あまり焦らずに。第1チャクラが悪いのであれば、第1チャクラからしっかりとさせていただくというような形で、1、2、3、4、5、6と調整していただくというような形でやっていただければ大丈夫ということですね。

1週間ずつやれば6週間なので。とは言っても、1ヶ月半ぐらいで整うと考えれば。今まで結構悩まれている方って、本当に10年とか悩まれている人もね。

東城：多いですね。

植草：それが、たったの1ヶ月半で整ってくるとしたら、ものすごい時短ですからね。

東城：逆に、もう次の日に効果が出ちゃっているよという人は、次に進んでもいいわけですから。最短では6日で整うということですから。

植草：ただ、とは言っても、焦らなくてもいいということと、たとえば、第1チャクラは大丈夫だな、じゃあ第2チャクラにいこう、でもそうしたら、また第1チャクラが、やっぱりちょっとおかしいなと思ったら戻ってもいいんですか？

東城：戻ってもいいです。

植草：戻ってもいいので、下からしっかりと整えていくと。

東城：それが一番ですね。魂を浄化せずに、運氣とかは回復しないですからね。

植草：今回、何気に第3話で持ってきていますけど、かなり真髓というか核となるものだというふうにご理解いただければ。いろんな、金運とか恋愛運とか、つい、

わかりやすいところで、おみくじを買いましたとか、おみくじぐらいならいい  
ですよ。お守り買いましたとか、お札買いましたとかって、やられている方  
も結構多いと思うんですけども、その前にここが整ってないと、それが全  
部無意味。

東城：無意味です。

植草：それぐらい重要なんだとっていただいて、整えてもらえればいかなという  
ことですね。

以上ですかね。第3話「チャクラと魂の浄化」というものについて見てしまし  
たけれども、これがかなり本当に真髓・真理に非常に近い理論、あとノウハ  
ウになっていますので、改めて動画を見返していただいて、ぜひ生活に役に立  
ていただければと思いますので、チャレンジしてみてください。それでは、  
またお会いしましょう。

東城：ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

次回、4章では、**お金と場の浄化：お金／仕事環境**をお伝えします。

